

地場企業の経営動向調査

(平成26年度第4・四半期)

平成27年4月22日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,320社（構成比率88.0%）、大企業180社（構成比率12.0%）により構成されている。

回答した企業数は649社、回答率43.3%となっており、回答企業の内訳は、中小企業603社（構成比率92.9%）、大企業46社（構成比率7.1%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成27年1～3月期の実績、及び平成27年4～6月期の予想について、平成27年3月末時点で調査した。

調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点
9. 消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について
10. 企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について

平成26年度 第4四半期

調査対象企業数及び回収結果

| 規模別 | 対象数 | 回答数 | 回答率 | 回答結果の構成比 |
|------|-------|-----|-------|----------|
| 全業種 | 1,500 | 649 | 43.3% | |
| 中小企業 | 1,320 | 603 | 45.7% | 92.9% |
| 大企業 | 180 | 46 | 25.6% | 7.1% |

| 業種別 | 対象数 | 回答数 | 回答率 | 回答結果の構成比 |
|--------------|-------|-----|--------|----------|
| 全業種 | 1,500 | 649 | 43.3% | |
| 建設業 | 212 | 105 | 49.5% | 16.2% |
| 土木建設業 | 81 | 41 | 50.6% | 6.3% |
| 建設付帯工事業 | 54 | 24 | 44.4% | 3.7% |
| 電気・管工事業 | 77 | 40 | 51.9% | 6.2% |
| 製造業 | 164 | 89 | 54.3% | 13.7% |
| 食料品製造業 | 56 | 26 | 46.4% | 4.0% |
| 繊維製品製造業 | 5 | 3 | 60.0% | 0.5% |
| 建材・木・紙製品製造業 | 12 | 6 | 50.0% | 0.9% |
| 印刷・製本業 | 24 | 11 | 45.8% | 1.7% |
| 窯業・土石製品製造業 | 9 | 3 | 33.3% | 0.5% |
| 金属製品製造業 | 10 | 8 | 80.0% | 1.2% |
| 一般機械器具製造業 | 15 | 15 | 100.0% | 2.3% |
| 電気機械器具製造業 | 14 | 6 | 42.9% | 0.9% |
| その他製造業 | 19 | 11 | 57.9% | 1.7% |
| 卸売業 | 178 | 93 | 52.2% | 14.3% |
| 食料品卸売業 | 35 | 20 | 57.1% | 3.1% |
| 繊維製品卸売業 | 13 | 6 | 46.2% | 0.9% |
| 建材・住宅機器卸売業 | 35 | 18 | 51.4% | 2.8% |
| 紙・文具卸売業 | 0 | 0 | - | - |
| 金属・鋼材卸売業 | 4 | 3 | 75.0% | 0.5% |
| 一般機械器具卸売業 | 31 | 15 | 48.4% | 2.3% |
| 石油・化学製品卸売業 | 6 | 2 | 33.3% | 0.3% |
| その他卸売業 | 54 | 29 | 53.7% | 4.5% |
| 小売業 | 208 | 88 | 42.3% | 13.6% |
| 食料品小売業 | 42 | 21 | 50.0% | 3.2% |
| 衣料品・身の回り品卸売業 | 27 | 10 | 37.0% | 1.5% |
| 石油・化学製品小売業 | 5 | 1 | 20.0% | 0.2% |
| 車両運搬具小売業 | 22 | 5 | 22.7% | 0.8% |
| 家電・厨房器具小売業 | 5 | 4 | 80.0% | 0.6% |
| 百貨店・セルフ店 | 2 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| その他小売業 | 105 | 47 | 44.8% | 7.2% |
| 運輸・倉庫業 | 88 | 34 | 38.6% | 5.2% |
| 旅客運送業 | 33 | 10 | 30.3% | 1.5% |
| 貨物運送・倉庫業 | 55 | 24 | 43.6% | 3.7% |
| サービス業 | 650 | 240 | 36.9% | 37.0% |
| 情報処理サービス業 | 92 | 39 | 42.4% | 6.0% |
| その他事務所サービス業 | 404 | 134 | 33.2% | 20.6% |
| ホテル・旅館・飲食業 | 100 | 41 | 41.0% | 6.3% |
| その他の個人サービス業 | 54 | 26 | 48.1% | 4.0% |

調査結果のポイント

【 業況について 】

- 今四半期（H27年 1～3月）の地場企業の景況判断指数（DI 値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は 26.4%（前期比+0.7 ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は 32.4%（前期比-1.4 ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は 40.9%（前期比+2.0 ポイント）となった。
DI 値は▲6.0（前期 DI 値▲8.1）となり、前期比で+2.1 ポイントと4期ぶりの改善となった。
- 規模別にみると、調査対象の9割以上を占める中小企業が▲4.7（前期比+2.8 ポイント）で4期ぶりの改善。大企業は▲21.8（前期比-10.7 ポイント）と2期連続の悪化となった。
- 業種別にみると、小売業（前期▲32.9→今期▲20.5）、サービス業（▲7→▲1.2）、卸売業（▲24.0→▲20.4）、運輸・倉庫業（15.7→17.7）と改善したが、製造業（▲2.3→▲14.6）、建設業（11.6→9.6）で悪化となった。
- 次期四半期（平成 27 年 4 月～6 月）予測 DI 値については▲2.1となっており、今期比+3.9 ポイントと改善の見通し。

【 項目別の動向について 】

- 項目別にみると、営業利益DI（前期▲17.5→今期▲16.2）は2期連続の改善、受注価格・販売価格DI（▲4.4→1.7）は3期ぶりの改善、資金繰りDI（▲6.4→▲4.2）は2期ぶりの改善となった。一方、生産額・売上額・完成工事高DI（▲0.8→▲6.3）は4期連続の悪化。原材料・製(商)品仕入価格DI（33.5→32.7）は3期連続の下落となった。
- 当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着性の悪化」44.4%（前期比-1.0 ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」41.8%（前期比+2.7 ポイント）、「営業利益の低下」33.6%（前期比-1.9 ポイント）、「経費の増加」25.8%（前期比 0.0 ポイント）、「原材料高、入手難」22.4%（前期比-3.9 ポイント）となった。
- 業種別でみると、建設業「人材難、求人難、定着性の悪化」56.2%、製造業「受注、需要の増加又は減少」52.8%、卸売業「営業利益の低下」43.0%、小売業「人材難、求人難、定着性の悪化」36.4%、運輸・倉庫業「人材難、求人難、定着性の悪化」61.8%、サービス業「人材難、求人難、定着性の悪化」51.5%がそれぞれ最も多かった。

【消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について】

- 消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について、最も多かったのは、「大きな変化はない」40.6%となり、次いで「消費者向け販売をしていない」30.7%、「上昇している」12.7%、「下落している」6.6%となった。

- 規模別にみると、「大きな変化はない」が大企業 60.9%と最も多かったが、中小企業は 39.0%と大企業との比較で 21.9 ポイント少なかった。

**【消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について
▽販売価格が上昇した要因】**

- 価格上昇の要因について、最も多かったのは、「仕入価格上昇分を転嫁できた」73.5%と最も高い割合となった。

- 規模別にみると、中小企業では「仕入価格上昇分を転嫁できた」が 74.3%と最も高い割合に対して、大企業では「既存製品・商品・サービスの付加価値を高めた」が 42.9%と最も多かった。

【企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について】

- 企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について、最も多かったのは、「大きな変化はない」51.6%となり、次いで「消費者向け販売をしていない」13.1%、「上昇している」12.2%、「下落している」9.8%となった。

- 規模別にみると、「大きな変化はない」が大企業 54.3%、中小企業は 51.6%と高い割合となった。

**【企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について
▽販売価格が上昇した要因】**

- 価格上昇の要因について、最も多かったのは、「仕入価格上昇分を転嫁できた」71.2%と最も高い割合となった。

- 規模別にみると、中小企業では「仕入価格上昇分を転嫁できた」が 75%と最も高い割合に対して、大企業では「既存製品・商品・サービスの付加価値を高めた」が 60%と最も多かった。

1. 自社・業界の景況

《4期ぶりに改善。次期も改善の見通し》

今四半期（H27年1～3月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は26.4%（前期比+0.7ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は32.4%（前期比-1.4ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は40.9%（前期比+2.0ポイント）となった。DI値は▲6.0（前期DI値▲8.1）となり、前期比で+2.1ポイントと4期ぶりの改善となった。

規模別にみると、調査対象の9割以上を占める中小企業が▲4.7（前期比+2.8ポイント）で4期ぶりの改善。大企業は▲21.8（前期比-10.7ポイント）と2期連続の悪化となった。

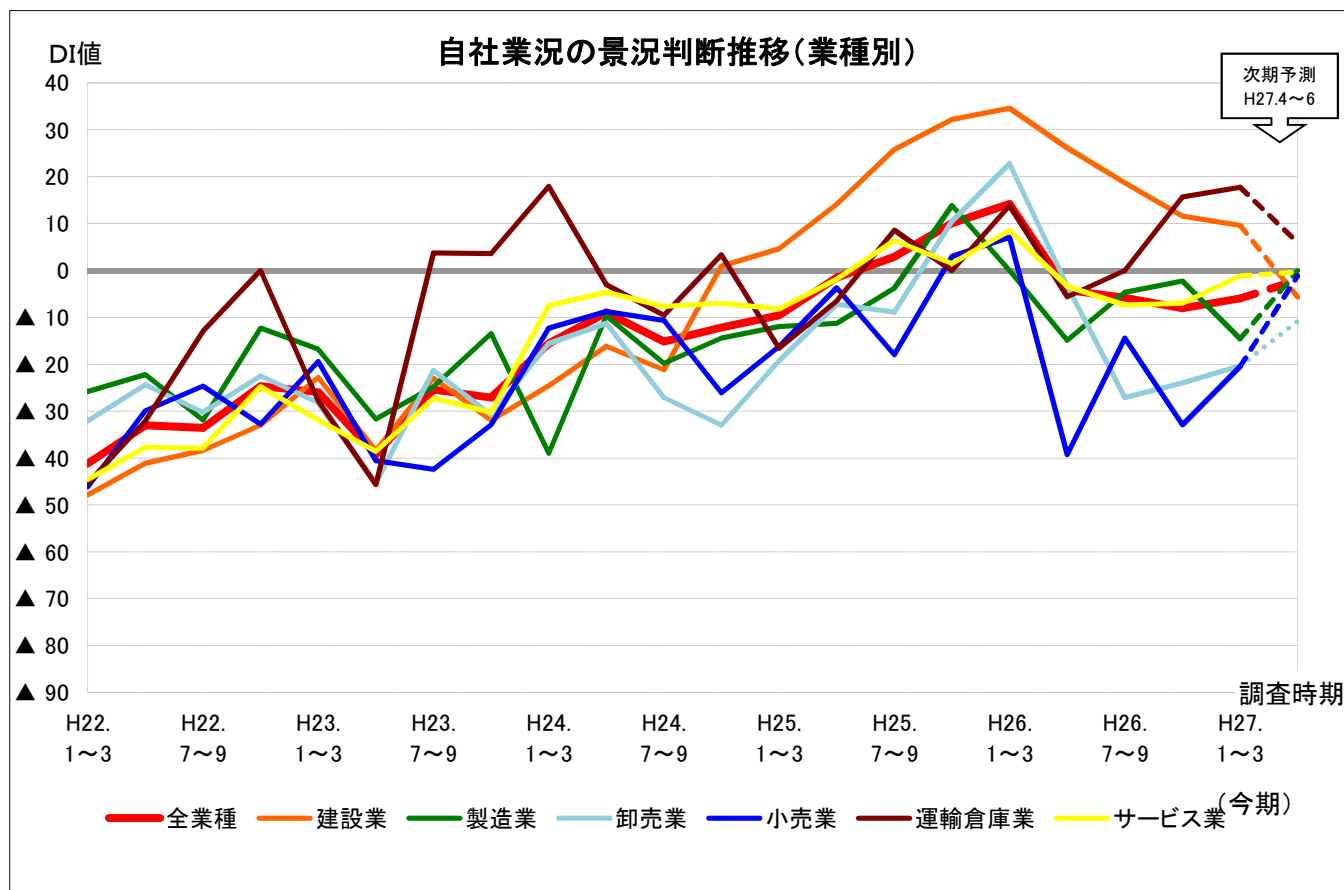
業種別にみると、小売業（前期▲32.9→今期▲20.5）、サービス業（▲7→▲1.2）、卸売業（▲24.0→▲20.4）、運輸・倉庫業（15.7→17.7）と改善したが、製造業（▲2.3→▲14.6）、建設業（11.6→9.6）が悪化。

次期四半期（平成27年4月～6月）予測については、▲2.1となっており、今期比+3.9ポイントと改善の見通しとなる。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年1～3月期)実績 | | | | | | | 次四半期(27年4～6月期)予測 | | | | | | |
|--------|------------------|---------|------|---------|----------|-----|-------|------------------|--------|------|--------|---------|------|-------|
| | 非常に良くなった | やや良くなった | 横ばい | やや悪くなった | 非常に悪くなった | 未記入 | DI値 | 非常に良くなる | やや良くなる | 横ばい | やや悪くなる | 非常に悪くなる | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 2.0 | 24.4 | 40.9 | 26.4 | 6.0 | 0.3 | ▲6.0 | 0.8 | 21.2 | 46.7 | 20.3 | 3.8 | 7.2 | ▲2.1 |
| 建設業 | 1.9 | 28.6 | 48.6 | 15.2 | 5.7 | 0.0 | 9.6 | 0.0 | 19.0 | 50.5 | 19.0 | 5.7 | 5.7 | ▲5.7 |
| 製造業 | 2.2 | 22.5 | 36.0 | 33.7 | 5.6 | 0.0 | ▲14.6 | 1.1 | 24.7 | 43.8 | 23.6 | 2.2 | 4.5 | 0.0 |
| 卸売業 | 0.0 | 22.6 | 34.4 | 39.8 | 3.2 | 0.0 | ▲20.4 | 0.0 | 17.2 | 46.2 | 25.8 | 2.2 | 8.6 | ▲10.8 |
| 小売業 | 3.4 | 15.9 | 40.9 | 31.8 | 8.0 | 0.0 | ▲20.5 | 2.3 | 18.2 | 48.9 | 18.2 | 3.4 | 9.1 | ▲1.1 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | 41.2 | 35.3 | 20.6 | 2.9 | 0.0 | 17.7 | 0.0 | 23.5 | 52.9 | 17.6 | 0.0 | 5.9 | 5.9 |
| サービス業 | 2.5 | 24.7 | 43.5 | 21.3 | 7.1 | 0.8 | ▲1.2 | 0.8 | 22.2 | 46.0 | 18.4 | 5.0 | 7.5 | ▲0.4 |
| 中小企業 | 1.8 | 25.0 | 41.5 | 25.2 | 6.3 | 0.2 | ▲4.7 | 0.7 | 20.9 | 47.3 | 20.4 | 4.0 | 6.8 | ▲2.8 |
| 大企業 | 4.3 | 15.2 | 37.0 | 39.1 | 2.2 | 2.2 | ▲21.8 | 2.2 | 19.6 | 45.7 | 17.4 | 2.2 | 13.0 | 2.2 |



2. 生産額、売上額、完成工事高

《4期連続の悪化、次期は改善の見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種平均で「増えた」と回答した企業は22.0%（前期比-4.0ポイント）、「減った」と回答した企業は28.3%（前期比+1.5ポイント）、「横ばい」と回答した企業は47.5%（前期比+2.4ポイント）となっており、DI値は▲6.3（前期DI値▲0.8）と前期比-5.5ポイントの悪化となった。

業種別にみると、小売業（前期▲30.4→今期▲11.4）では改善となった。製造業（8.1→▲9）、建設業（13.6→▲0.1）、運輸・倉庫業（15.6→2.9）、卸売業（▲6.8→▲15）、サービス業（▲0.3→▲3.4）で悪化となった。

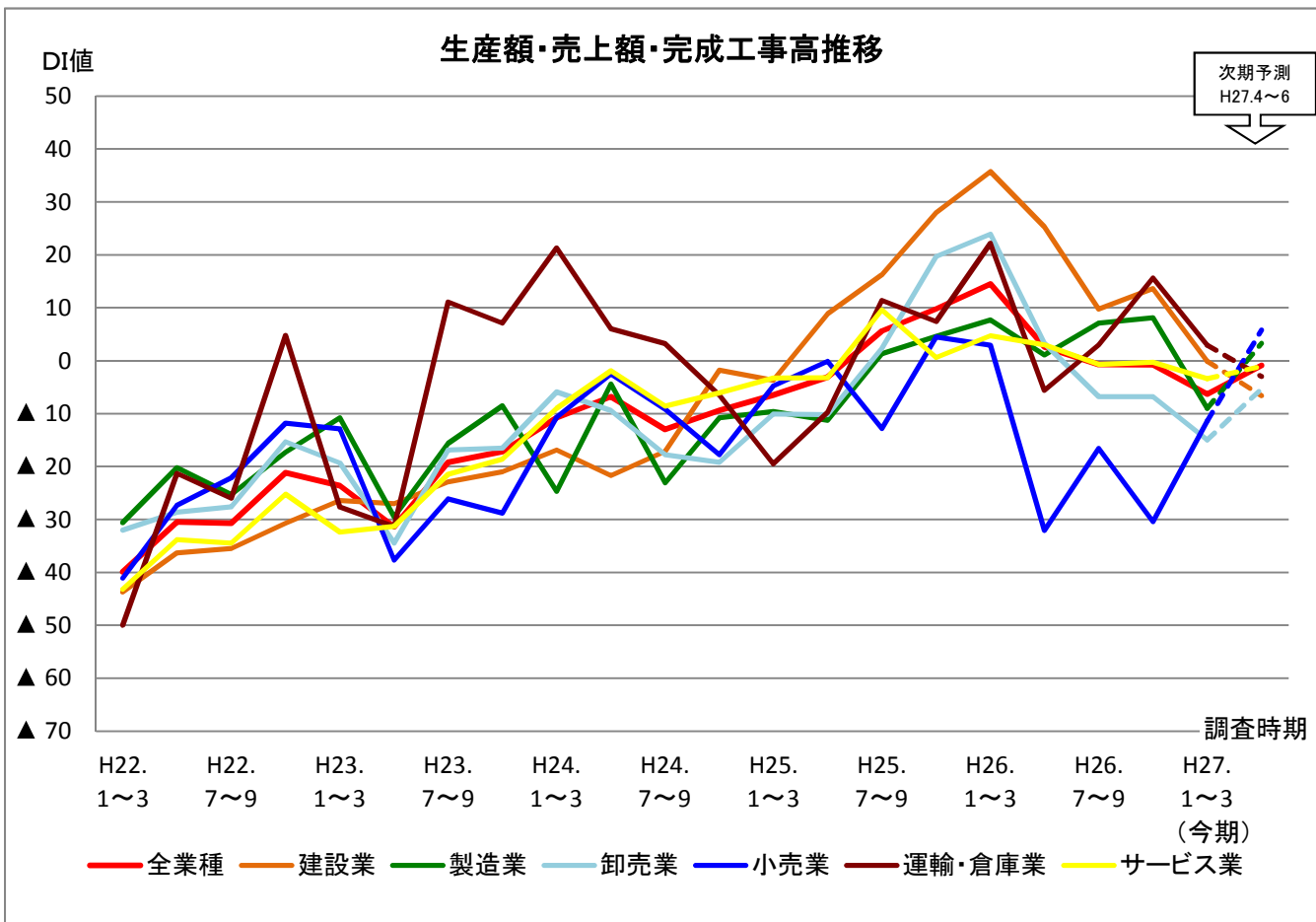
規模別にみると、中小企業（前期▲0.9→今期▲6.1）と悪化。大企業も（0→▲6.5）の悪化となった。

次四半期（平成27年4月～6月）予測については、▲0.9となっており、今期比で+5.4ポイントと改善の見通し。

《生産額、売上額、完成工事高（前年同期と比較して）》

（単位 %）

| | 今四半期(27年1～3月期)実績 | | | | | | | 次四半期(27年4～6月期)予測 | | | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|------|-----|-------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| | 2ケタ増 | 1ケタ増 | 横ばい | 1ケタ減 | 2ケタ減 | 未記入 | DI値 | 2ケタ増 | 1ケタ増 | 横ばい | 1ケタ減 | 2ケタ減 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 3.1 | 18.9 | 47.5 | 21.1 | 7.2 | 2.3 | ▲6.3 | 2.1 | 17.6 | 51.8 | 15.7 | 4.9 | 7.9 | ▲0.9 |
| 建設業 | 1.9 | 19.0 | 58.1 | 12.4 | 8.6 | 0.0 | ▲0.1 | 1.0 | 12.4 | 61.0 | 13.3 | 6.7 | 5.7 | ▲6.6 |
| 製造業 | 5.6 | 18.0 | 42.7 | 27.0 | 5.6 | 1.1 | ▲9.0 | 3.4 | 21.3 | 50.6 | 16.9 | 4.5 | 3.4 | 3.3 |
| 卸売業 | 2.2 | 20.4 | 37.6 | 30.1 | 7.5 | 2.2 | ▲15.0 | 0.0 | 19.4 | 47.3 | 20.4 | 4.3 | 8.6 | ▲5.3 |
| 小売業 | 4.5 | 13.6 | 52.3 | 19.3 | 10.2 | 0.0 | ▲11.4 | 5.7 | 18.2 | 50.0 | 13.6 | 4.5 | 8.0 | 5.8 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | 23.5 | 47.1 | 20.6 | 0.0 | 8.8 | 2.9 | 2.9 | 14.7 | 52.9 | 20.6 | 0.0 | 8.8 | ▲3.0 |
| サービス業 | 2.9 | 20.1 | 46.9 | 19.7 | 6.7 | 3.8 | ▲3.4 | 1.7 | 17.2 | 51.0 | 14.6 | 5.4 | 10.0 | ▲1.1 |
| 中小企業 | 2.7 | 19.2 | 47.9 | 20.7 | 7.3 | 2.2 | ▲6.1 | 2.0 | 16.1 | 52.7 | 16.4 | 5.3 | 7.5 | ▲3.6 |
| 大企業 | 8.7 | 15.2 | 41.3 | 26.1 | 4.3 | 4.3 | ▲6.5 | 4.3 | 32.6 | 41.3 | 6.5 | 0.0 | 15.2 | 30.4 |



3. 原材料、製（商）品仕入価格

《3期連続の下落、次期も下落の見通し》

原材料、製（商）品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は37.1%（前期比-0.1ポイント）、「下落」と回答した企業は4.4%（前期比+0.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は44.4%（前期比+0.2ポイント）となっており、DI値は32.7（前期DI値33.5）と前期比-0.8ポイントの下落となった。

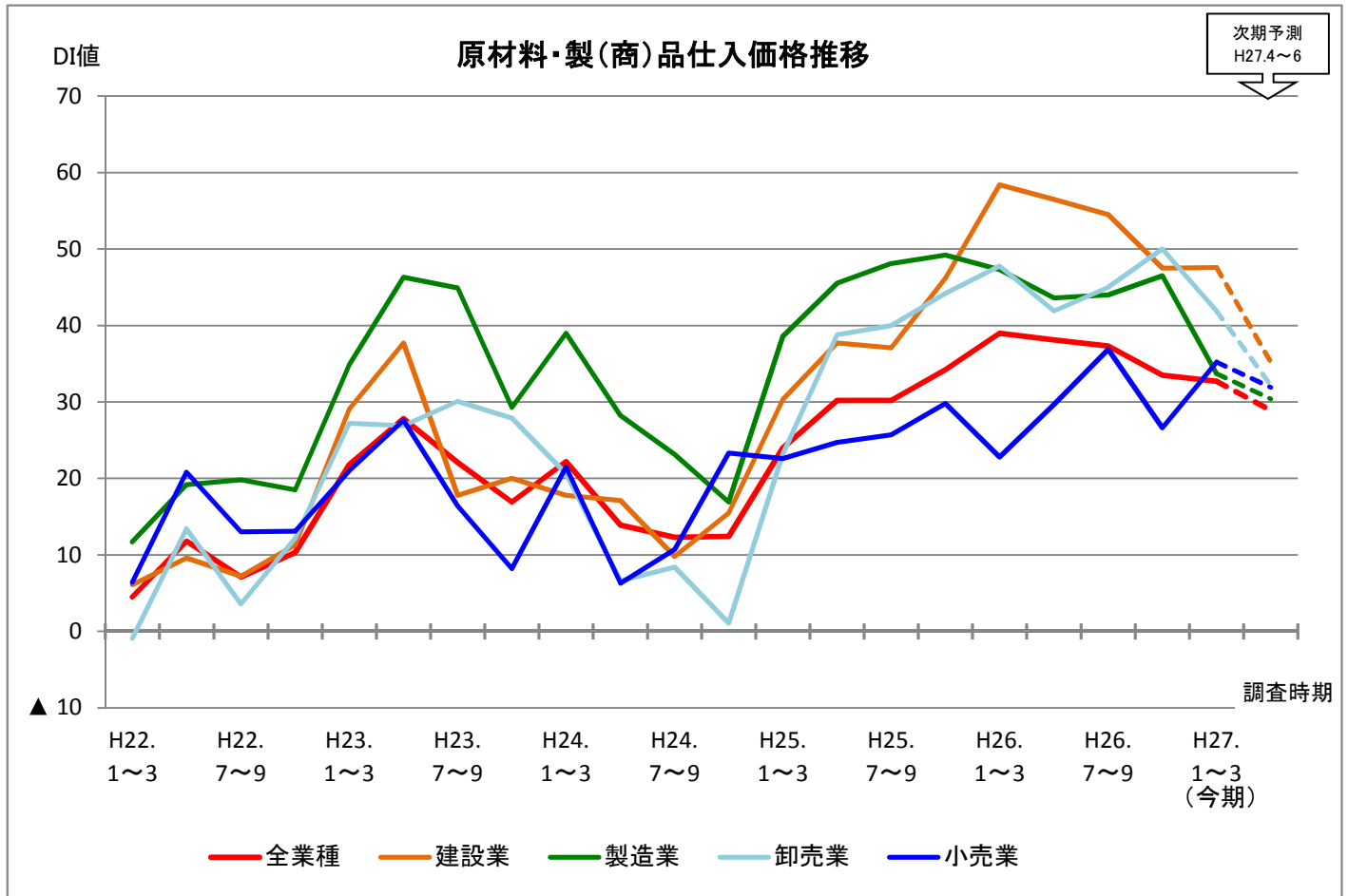
業種別にみると、小売業（前期26.6→今期35.2）、サービス業（23.5→27.2）、建設業（47.5→47.6）と上昇。一方、運輸・倉庫業（3.1→▲14.7）、製造業（46.5→33.7）、卸売業（50→41.9）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期33.5→今期32.5）、大企業は（33.3→28.3）とともに下落となった。

次四半期（平成27年4月～6月）予測については、28.9となっており、今期比で-3.8ポイントと下落の見通し。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

| | 今四半期(27年1~3月期)実績 | | | | | 次四半期(27年4~6月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|-------|------------------|------|-----|------|------|
| | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 37.1 | 44.4 | 4.4 | 14.0 | 32.7 | 32.1 | 45.3 | 3.2 | 19.4 | 28.9 |
| 建設業 | 49.5 | 45.7 | 1.9 | 2.9 | 47.6 | 38.1 | 50.5 | 2.9 | 8.6 | 35.2 |
| 製造業 | 41.6 | 49.4 | 7.9 | 1.1 | 33.7 | 36.0 | 55.1 | 5.6 | 3.4 | 30.4 |
| 卸売業 | 46.2 | 46.2 | 4.3 | 3.2 | 41.9 | 37.6 | 48.4 | 5.4 | 8.6 | 32.2 |
| 小売業 | 40.9 | 50.0 | 5.7 | 3.4 | 35.2 | 36.4 | 48.9 | 4.5 | 10.2 | 31.9 |
| 運輸・倉庫業 | 5.9 | 29.4 | 20.6 | 44.1 | ▲14.7 | 8.8 | 35.3 | 5.9 | 50.0 | 2.9 |
| サービス業 | 28.5 | 42.3 | 1.3 | 28.0 | 27.2 | 26.4 | 39.3 | 0.8 | 33.5 | 25.6 |
| 中小企業 | 37.0 | 44.3 | 4.5 | 14.3 | 32.5 | 31.7 | 45.8 | 3.3 | 19.2 | 28.4 |
| 大企業 | 32.6 | 50.0 | 4.3 | 13.0 | 28.3 | 30.4 | 43.5 | 2.2 | 23.9 | 28.2 |



4. 受注価格、販売価格

《3期ぶりの改善、次期は下落の見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は13.0%（前期比+3.2ポイント）、「下落」と回答した企業は11.3%（前期比-2.9ポイント）、「横ばい」と回答した企業は70.2%（前期比-1.3ポイント）となっており、DI値は1.7（前期DI値▲4.4）と前期比+6.1ポイントの改善となった。

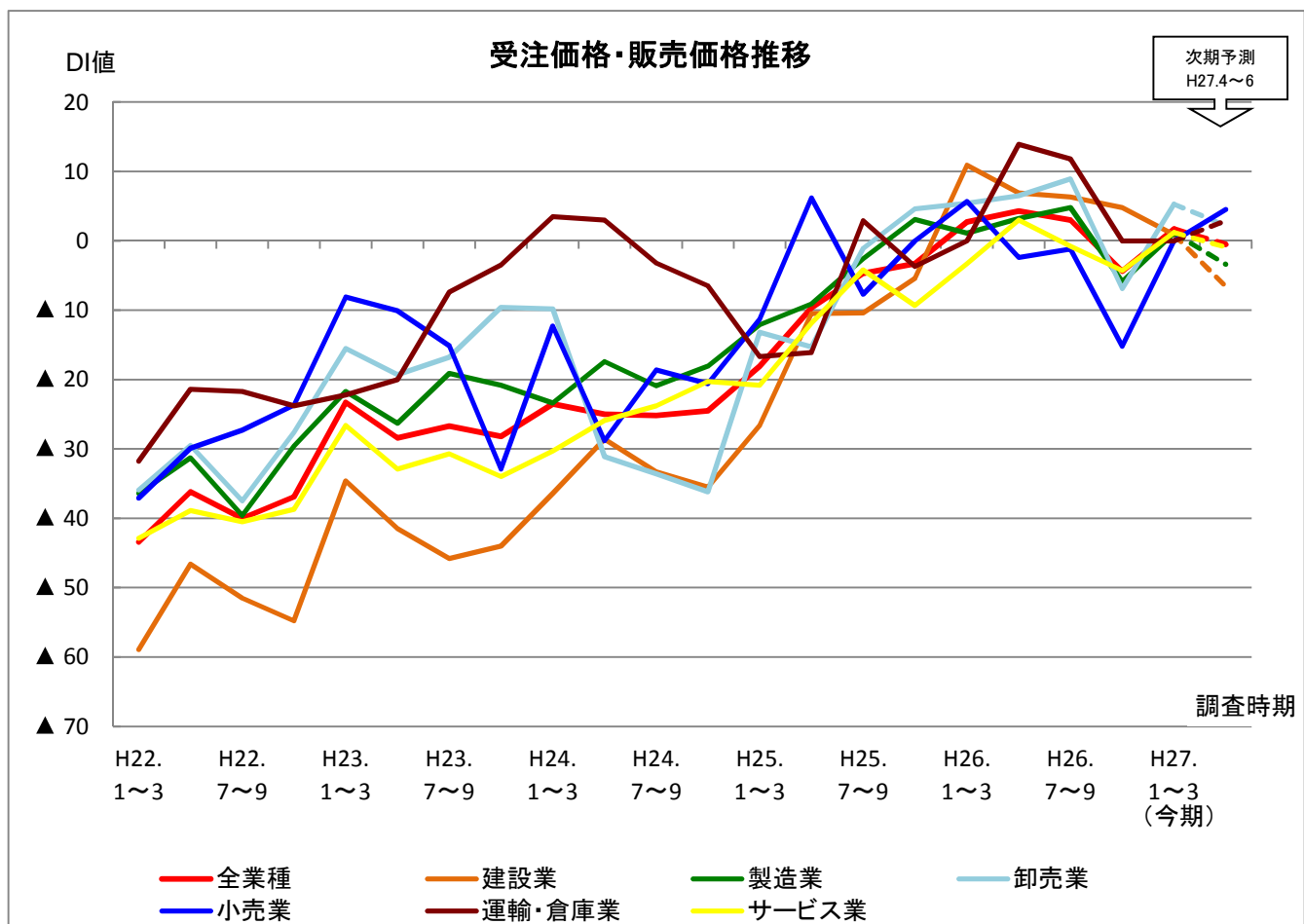
業種別にみると、小売業（前期▲15.2→今期0.0）、卸売業（▲6.9→5.3）、製造業（▲5.9→1.1）、サービス業（▲4.3→1.2）と上昇。運輸・倉庫業（0.0→0.0）は横ばい、建設業（4.8→0.9）は下落となった。

規模別にみると、中小企業（前期▲5.4→今期0.2）、大企業（5.6→17.4）とともに上昇となった。

次期（平成27年4月～6月）予測については、▲0.5となっており、今期比で-2.2ポイントと下落の見通し。

《 受注価格、販売価格（前年同月と比較して） 》 (単位 %)

| | 今四半期(27年1~3月期)実績 | | | | | 次四半期(27年4~6月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|------|------------------|------|------|------|------|
| | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 | 上昇 | 横ばい | 下落 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 13.0 | 70.2 | 11.3 | 5.5 | 1.7 | 11.0 | 67.3 | 11.5 | 10.2 | ▲0.5 |
| 建設業 | 11.4 | 75.2 | 10.5 | 2.9 | 0.9 | 6.7 | 73.3 | 13.3 | 6.7 | ▲6.6 |
| 製造業 | 6.7 | 84.3 | 5.6 | 3.4 | 1.1 | 5.6 | 79.8 | 9.0 | 5.6 | ▲3.4 |
| 卸売業 | 20.4 | 63.4 | 15.1 | 1.1 | 5.3 | 18.3 | 60.2 | 16.1 | 5.4 | 2.2 |
| 小売業 | 17.0 | 64.8 | 17.0 | 1.1 | 0.0 | 15.9 | 64.8 | 11.4 | 8.0 | 4.5 |
| 運輸・倉庫業 | 5.9 | 70.6 | 5.9 | 17.6 | 0.0 | 8.8 | 67.6 | 5.9 | 17.6 | 2.9 |
| サービス業 | 12.1 | 67.8 | 10.9 | 9.2 | 1.2 | 10.0 | 64.0 | 10.9 | 15.1 | ▲0.9 |
| 中小企業 | 11.8 | 71.0 | 11.6 | 5.6 | 0.2 | 9.8 | 68.2 | 12.1 | 10.0 | ▲2.3 |
| 大企業 | 26.1 | 60.9 | 8.7 | 4.3 | 17.4 | 23.9 | 56.5 | 4.3 | 15.2 | 19.6 |



5. 製（商）品在庫

《2期ぶりの悪化、次期は改善の見通し》

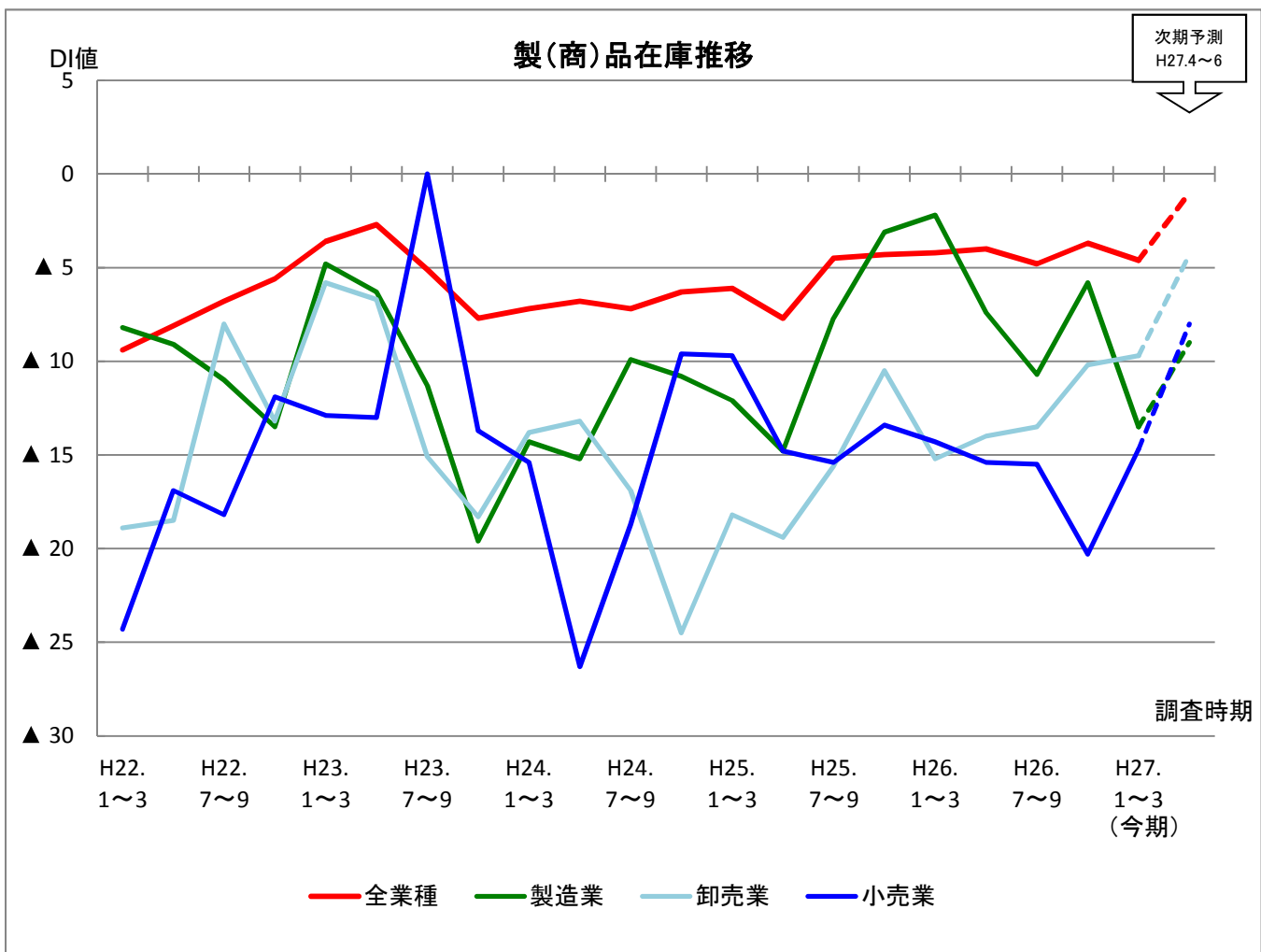
製（商）在庫については、「適正」と回答した企業は62.6%（前期比-1.9ポイント）、「不足」と回答した企業は3.5%（前期比+0.6ポイント）、「過剰」と回答した企業は8.1%（前期比+1.5ポイント）となっており、DI値は▲4.6（前期DI値▲3.7）と前期比-0.9ポイントの悪化となった。

次四半期（平成27年4月～6月）予測については、▲1.0となっており、今期比で+3.6ポイントの改善の見通し。

《 製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して） 》

（単位 %）

| | 今四半期(27年1~3月期)実績 | | | | | 次四半期(27年4~6月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|------|-------|------------------|------|------|------|------|
| | 不足 | 適正 | 過剰 | 未記入 | DI値 | 不足 | 適正 | 過剰 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 3.5 | 62.6 | 8.1 | 25.8 | ▲4.6 | 4.0 | 60.6 | 5.0 | 30.4 | ▲1.0 |
| 建設業 | 3.8 | 57.1 | 1.9 | 37.1 | 1.9 | 4.8 | 52.4 | 1.0 | 41.9 | 3.8 |
| 製造業 | 1.1 | 77.5 | 14.6 | 6.7 | ▲13.5 | 1.1 | 79.8 | 10.1 | 9.0 | ▲9.0 |
| 卸売業 | 4.3 | 78.5 | 14.0 | 3.2 | ▲9.7 | 4.3 | 78.5 | 8.6 | 8.6 | ▲4.3 |
| 小売業 | 2.3 | 77.3 | 17.0 | 3.4 | ▲14.7 | 4.5 | 72.7 | 12.5 | 10.2 | ▲8.0 |
| 運輸・倉庫業 | 0.0 | 29.4 | 2.9 | 67.6 | ▲2.9 | 5.9 | 23.5 | 2.9 | 67.6 | 3.0 |
| サービス業 | 4.6 | 52.7 | 3.3 | 39.3 | 1.3 | 3.8 | 51.0 | 1.3 | 43.9 | 2.5 |
| 中小企業 | 3.6 | 61.4 | 8.3 | 26.7 | ▲4.7 | 4.1 | 59.9 | 5.1 | 30.8 | ▲1.0 |
| 大企業 | 0.0 | 80.4 | 4.3 | 15.2 | ▲4.3 | 0.0 | 69.6 | 4.3 | 26.1 | ▲4.3 |



6. 営業利益

《2期連続の改善、次期も改善の見通し》

営業利益については、「増加」と回答した企業は18.8%（前期比-1.5ポイント）、「減少」と回答した企業は35.0%（前期比+3.8ポイント）となっており、DI値は▲16.2（前期DI値▲17.5）と前期比+1.3ポイントの改善となった。

業種別にみると、小売業（前期▲44.3→今期▲30.7）、サービス業（▲17.2→▲10.9）と改善。一方、製造業（▲12.8→▲20.2）、卸売業（▲30.7→▲35.5）、建設業（▲2.9→▲6.7）、運輸・倉庫業（18.7→17.7）の悪化となった。

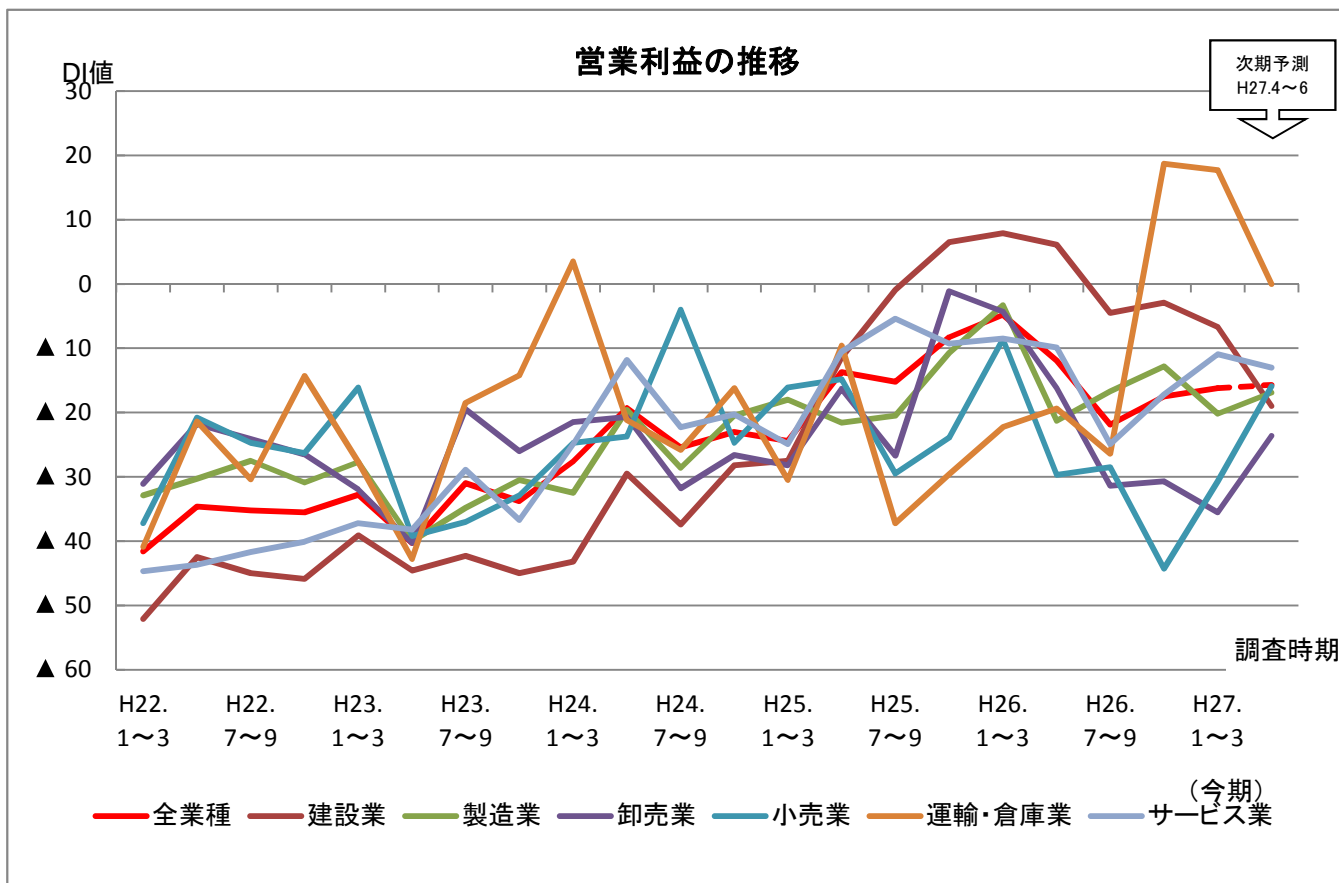
規模別にみると、中小企業（前期▲18.2→今期▲15.8）と改善。大企業（▲12.9→▲19.5）の悪化となった。

次四半期（平成27年4月～6月）予測については、▲15.7となっており、今期比で+0.5ポイント改善の見通し。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年1~3月期)実績 | | | | | 次四半期(27年4~6月期)予測 | | | | |
|--------|------------------|------|------|-----|-------|------------------|------|------|------|-------|
| | 増加 | 横ばい | 減少 | 未記入 | DI値 | 増加 | 横ばい | 減少 | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 18.8 | 45.0 | 35.0 | 1.2 | ▲16.2 | 13.6 | 50.7 | 29.3 | 6.4 | ▲15.7 |
| 建設業 | 19.0 | 54.3 | 25.7 | 1.0 | ▲6.7 | 8.6 | 58.1 | 27.6 | 5.7 | ▲19.0 |
| 製造業 | 18.0 | 43.8 | 38.2 | 0.0 | ▲20.2 | 15.7 | 49.4 | 32.6 | 2.2 | ▲16.9 |
| 卸売業 | 14.0 | 36.6 | 49.5 | 0.0 | ▲35.5 | 10.8 | 48.4 | 34.4 | 6.5 | ▲23.6 |
| 小売業 | 13.6 | 40.9 | 44.3 | 1.1 | ▲30.7 | 13.6 | 50.0 | 29.5 | 6.8 | ▲15.9 |
| 運輸・倉庫業 | 35.3 | 47.1 | 17.6 | 0.0 | 17.7 | 17.6 | 64.7 | 17.6 | 0.0 | 0.0 |
| サービス業 | 20.1 | 46.4 | 31.0 | 2.5 | ▲10.9 | 15.5 | 47.3 | 28.5 | 8.8 | ▲13.0 |
| 中小企業 | 18.7 | 45.8 | 34.5 | 1.0 | ▲15.8 | 13.6 | 51.1 | 29.7 | 5.6 | ▲16.1 |
| 大企業 | 19.6 | 37.0 | 39.1 | 4.3 | ▲19.5 | 13.0 | 45.7 | 23.9 | 17.4 | ▲10.9 |



7. 資金繰り

《2期ぶりの改善、次期は悪化の見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は12.7%（前期比-0.7ポイント）、「苦しい」と回答した企業は16.9%（前期比-2.9ポイント）、「不変」と回答した企業は69.3%（前期比+3.8ポイント）となっており、DI値は▲4.2（前期DI値▲6.4）と前期比+2.2ポイントの改善となった。

業種別にみると、卸売業（前期▲13.6→今期▲6.4）、製造業（▲9.3→▲2.3）、小売業（▲12.6→▲5.7）、建設業（▲3.9→▲1.9）と改善。一方、運輸・倉庫業（12.6→5.9）、サービス業（▲4.7→▲5.9）の悪化となった。

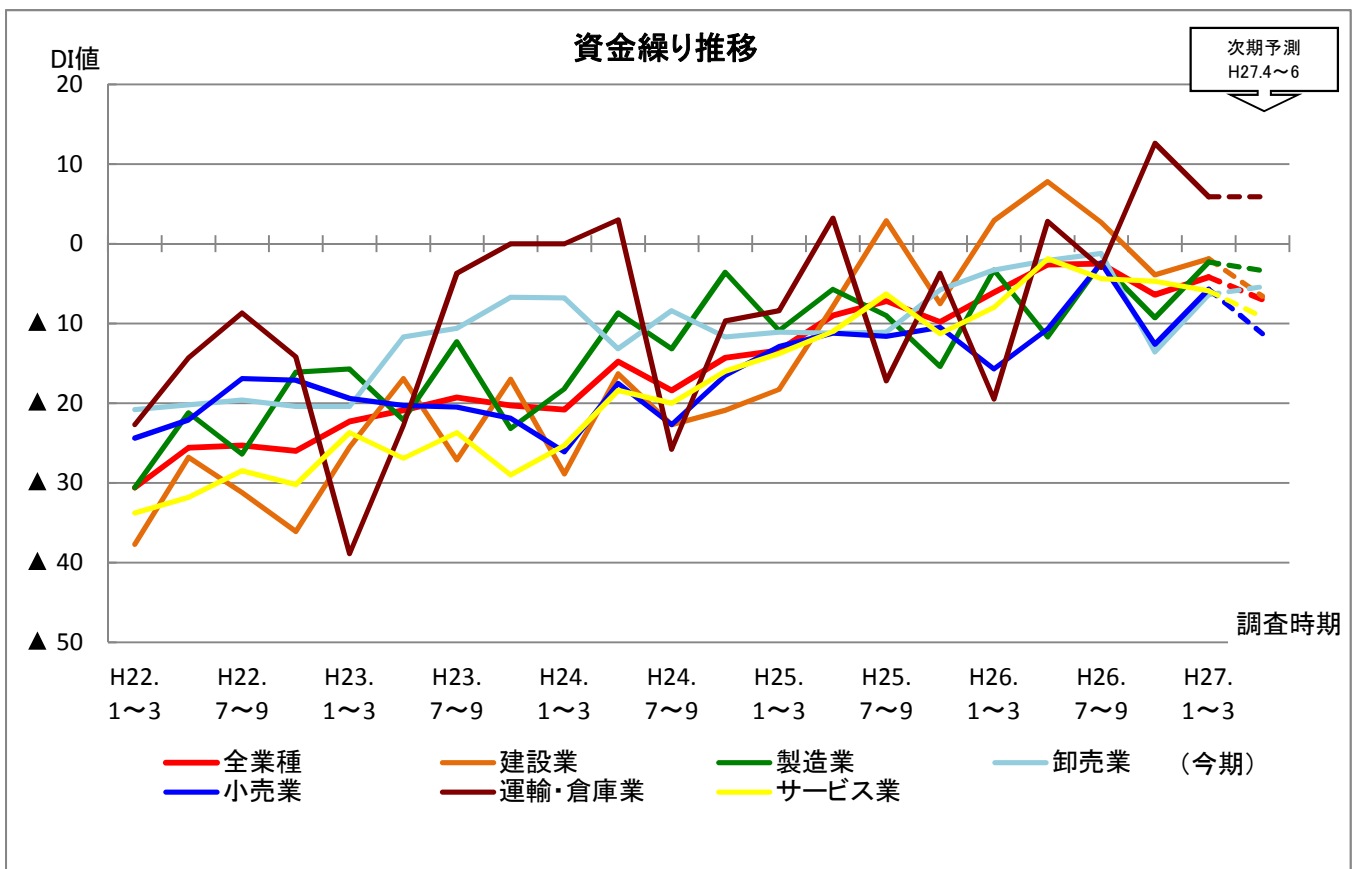
規模別にみると、中小企業（前期▲7.6→今期▲4.9）、大企業（5.5→8.7）とともに改善となった。

次四半期（平成27年4月～6月）予測については、▲7.0となっており、今期比で-2.8ポイントの悪化の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

| | 今四半期(27年1～3期)実績 | | | | | 次四半期(27年4～6月期)予測 | | | | |
|--------|-----------------|------|------|-----|------|------------------|------|-------|------|-------|
| | 楽である | 不変 | 苦しい | 未記入 | DI値 | 楽になる | 不変 | 苦しくなる | 未記入 | DI値 |
| 全業種 | 12.7 | 69.3 | 16.9 | 1.1 | ▲4.2 | 9.6 | 67.2 | 16.6 | 6.6 | ▲7.0 |
| 建設業 | 10.5 | 77.1 | 12.4 | 0.0 | ▲1.9 | 8.6 | 70.5 | 15.2 | 5.7 | ▲6.6 |
| 製造業 | 10.1 | 77.5 | 12.4 | 0.0 | ▲2.3 | 10.1 | 74.2 | 13.5 | 2.2 | ▲3.4 |
| 卸売業 | 10.8 | 71.0 | 17.2 | 1.1 | ▲6.4 | 8.6 | 71.0 | 14.0 | 6.5 | ▲5.4 |
| 小売業 | 12.5 | 69.3 | 18.2 | 0.0 | ▲5.7 | 8.0 | 65.9 | 19.3 | 6.8 | ▲11.3 |
| 運輸・倉庫業 | 20.6 | 64.7 | 14.7 | 0.0 | 5.9 | 14.7 | 76.5 | 8.8 | 0.0 | 5.9 |
| サービス業 | 14.2 | 63.2 | 20.1 | 2.5 | ▲5.9 | 10.0 | 61.5 | 19.2 | 9.2 | ▲9.2 |
| 中小企業 | 12.8 | 68.7 | 17.7 | 0.8 | ▲4.9 | 9.6 | 66.8 | 17.6 | 6.0 | ▲8.0 |
| 大企業 | 13.0 | 78.3 | 4.3 | 4.3 | 8.7 | 8.7 | 73.9 | 2.2 | 15.2 | 6.5 |



8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着性の悪化」44.4%（前期比-1.0ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」41.8%（前期比+2.7ポイント）、「営業利益の低下」33.6%（前期比-1.9ポイント）、「経費の増加」25.8%（前期比0.0ポイント）、「原材料高、入手難」22.4%（前期比-3.9ポイント）となった。

業種別でみると、建設業「人材難、求人難、定着性の悪化」56.2%、製造業「受注、需要の増加又は減少」52.8%、卸売業「営業利益の低下」43.0%、小売業「人材難、求人難、定着性の悪化」36.4%、運輸・倉庫業「人材難、求人難、定着性の悪化」61.8%、サービス業「人材難、求人難、定着性の悪化」51.5%がそれぞれ最も多かった。

規模別でみると、「人材難、求人難、定着性の悪化」が中小企業で44.3%、大企業で43.5%と最も多かった。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

(単位 %)

| 問題点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------|---------|--------------|----------|--------|------|-------|----------|----------|----------|------|----------|----------|----------|
| | 天候などの自然 | 受注、需要の増加又は減少 | 出店、業者の進退 | 官公需の停滞 | 輸出不振 | 元請の減少 | 低操業率、稼働率 | 難原材料高、入手 | の出荷、納品価格 | 過剰在庫 | 嫁販、売価への転 | 増販、代金の回収 | 化売、掛金の長期 |
| 全業種 | 12.1 | 41.8 | 15.9 | 8.7 | 0.5 | 2.9 | 7.5 | 22.4 | 7.8 | 4.0 | 20.8 | 2.1 | 5.0 |
| 建設業 | 10.5 | 53.3 | 6.7 | 17.1 | 0.0 | 12.4 | 7.6 | 20.0 | 4.8 | 1.9 | 6.7 | 1.0 | 5.7 |
| 製造業 | 11.2 | 52.8 | 7.9 | 6.7 | 0.0 | 1.1 | 14.6 | 38.2 | 16.9 | 3.4 | 36.0 | 0.0 | 4.5 |
| 卸売業 | 12.9 | 41.9 | 19.4 | 10.8 | 2.2 | 0.0 | 3.2 | 24.7 | 14.0 | 8.6 | 33.3 | 4.3 | 6.5 |
| 小売業 | 11.4 | 28.4 | 27.3 | 6.8 | 0.0 | 1.1 | 4.5 | 25.0 | 8.0 | 9.1 | 26.1 | 2.3 | 9.1 |
| 運輸・倉庫業 | 11.8 | 26.5 | 5.9 | 2.9 | 2.9 | 0.0 | 17.6 | 5.9 | 2.9 | 0.0 | 11.8 | 2.9 | 0.0 |
| サービス業 | 12.6 | 39.3 | 18.4 | 6.7 | 0.0 | 1.7 | 5.9 | 18.0 | 4.2 | 1.7 | 16.3 | 2.5 | 3.8 |
| 中小企業 | 11.3 | 42.5 | 14.8 | 9.0 | 0.5 | 3.2 | 7.6 | 21.7 | 7.6 | 4.1 | 20.9 | 2.3 | 5.5 |
| 大企業 | 19.6 | 32.6 | 28.3 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 30.4 | 10.9 | 0.0 | 21.7 | 0.0 | 0.0 |

| 問題点 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|--------|-------|---------|---------|----------|----------|--------|-------------|----------|----------|-------|--------|----------|-----|
| | 経費の増加 | 営業利益の低下 | 不陸、駐車の狭 | 店舗、老朽化、近 | 代賃、設備の値上 | が家賃の値上 | 化難、材定着、性求人悪 | 費人手過剰、人件 | 対労務管理、組合 | 資金借入難 | 金利負担増加 | 難情報不足、人材 | その他 |
| 全業種 | 25.8 | 33.6 | 2.7 | 9.5 | 2.1 | 44.4 | 9.2 | 5.2 | 4.3 | 2.4 | 4.3 | 2.7 | 4.3 |
| 建設業 | 20.0 | 29.5 | 5.7 | 1.0 | 1.0 | 56.2 | 7.6 | 5.7 | 3.8 | 1.0 | 6.7 | 1.9 | 5.7 |
| 製造業 | 19.1 | 40.4 | 4.5 | 11.2 | 1.1 | 29.2 | 10.1 | 2.2 | 3.4 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | 1.1 |
| 卸売業 | 21.5 | 43.0 | 2.2 | 3.2 | 1.1 | 28.0 | 3.2 | 3.2 | 5.4 | 2.2 | 3.2 | 3.2 | 3.2 |
| 小売業 | 29.5 | 33.0 | 3.4 | 20.5 | 4.5 | 36.4 | 11.4 | 2.3 | 3.4 | 4.5 | 0.0 | 2.3 | 6.8 |
| 運輸・倉庫業 | 23.5 | 11.8 | 2.9 | 5.9 | 2.9 | 61.8 | 5.9 | 14.7 | 2.9 | 5.9 | 5.9 | 2.9 | 8.8 |
| サービス業 | 31.4 | 32.6 | 0.8 | 11.7 | 2.5 | 51.5 | 11.3 | 6.7 | 5.0 | 2.1 | 5.4 | 3.3 | 3.8 |
| 中小企業 | 25.5 | 34.3 | 2.8 | 8.8 | 2.3 | 44.3 | 9.1 | 4.6 | 4.6 | 2.5 | 4.5 | 2.8 | 4.0 |
| 大企業 | 28.3 | 23.9 | 2.2 | 19.6 | 0.0 | 43.5 | 8.7 | 13.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 2.2 | 8.7 |

9. 消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について

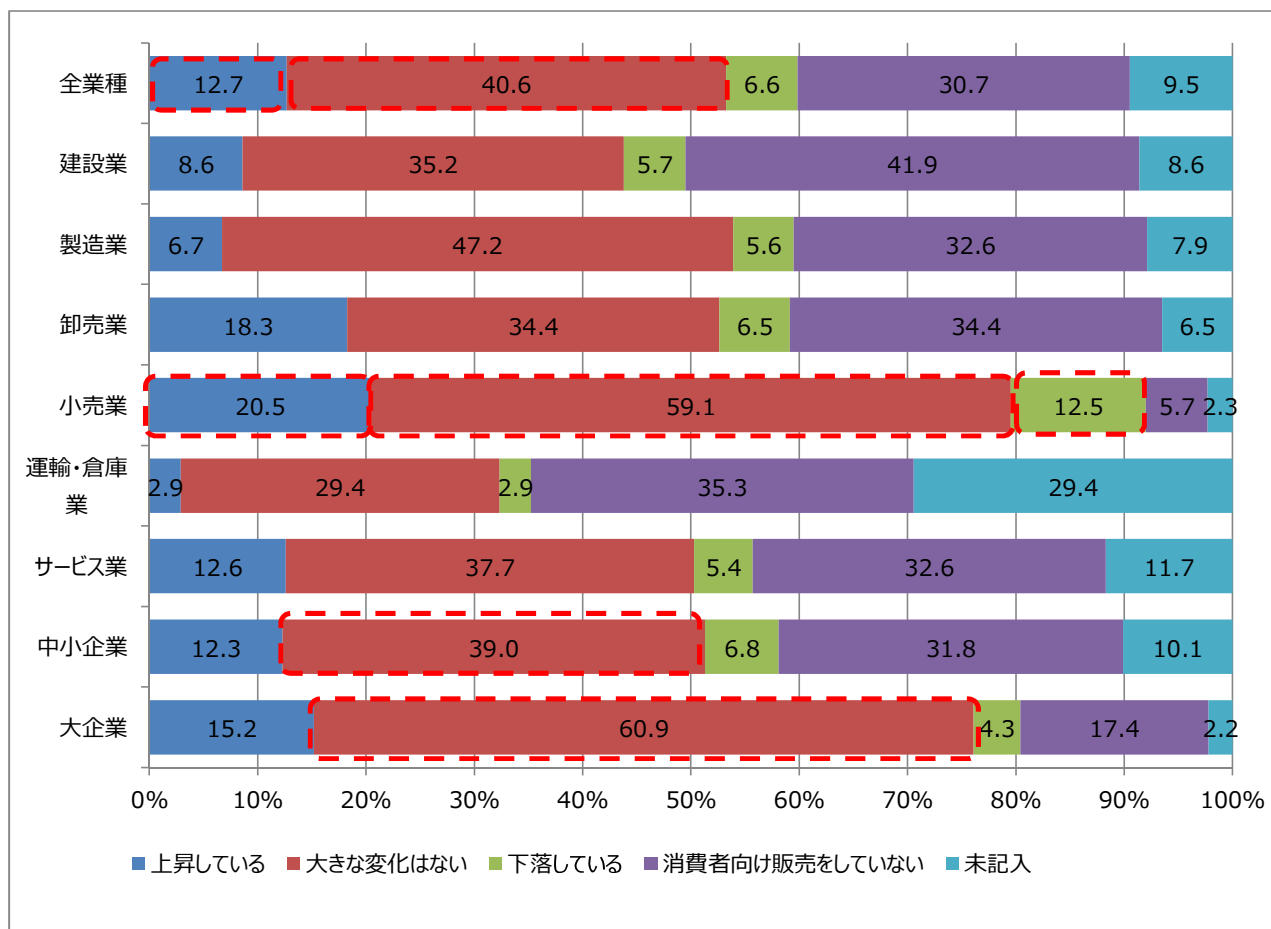
消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について、最も多かったのは、「大きな変化はない」40.6%となり、次いで「消費者向け販売をしていない」30.7%、「上昇している」12.7%、「下落している」6.6%となった。

規模別にみると、「大きな変化はない」が大企業60.9%と最も多かったが、中小企業は39.0%と大企業との比較で21.9ポイント少なかった。

業種別にみると、「大きな変化はない」が全業種40.6%に対して、小売業で59.1%と最も割合が高い。「上昇している」でも小売業が20.5%と最も割合が高く、「下落している」でも12.5%と割合が最も高くなっている。

（単位 %）

| | 上昇している | 大きな変化はない | 下落している | 消費者向け販売をしていない | 未記入 |
|--------|--------|----------|--------|---------------|------|
| 全業種 | 12.7 | 40.6 | 6.6 | 30.7 | 9.5 |
| 建設業 | 8.6 | 35.2 | 5.7 | 41.9 | 8.6 |
| 製造業 | 6.7 | 47.2 | 5.6 | 32.6 | 7.9 |
| 卸売業 | 18.3 | 34.4 | 6.5 | 34.4 | 6.5 |
| 小売業 | 20.5 | 59.1 | 12.5 | 5.7 | 2.3 |
| 運輸・倉庫業 | 2.9 | 29.4 | 2.9 | 35.3 | 29.4 |
| サービス業 | 12.6 | 37.7 | 5.4 | 32.6 | 11.7 |
| 中小企業 | 12.3 | 39.0 | 6.8 | 31.8 | 10.1 |
| 大企業 | 15.2 | 60.9 | 4.3 | 17.4 | 2.2 |



9-1. 消費者向けの商品・製品（BtoC）の販売価格（一年前との比較）について ▽販売価格が上昇した要因

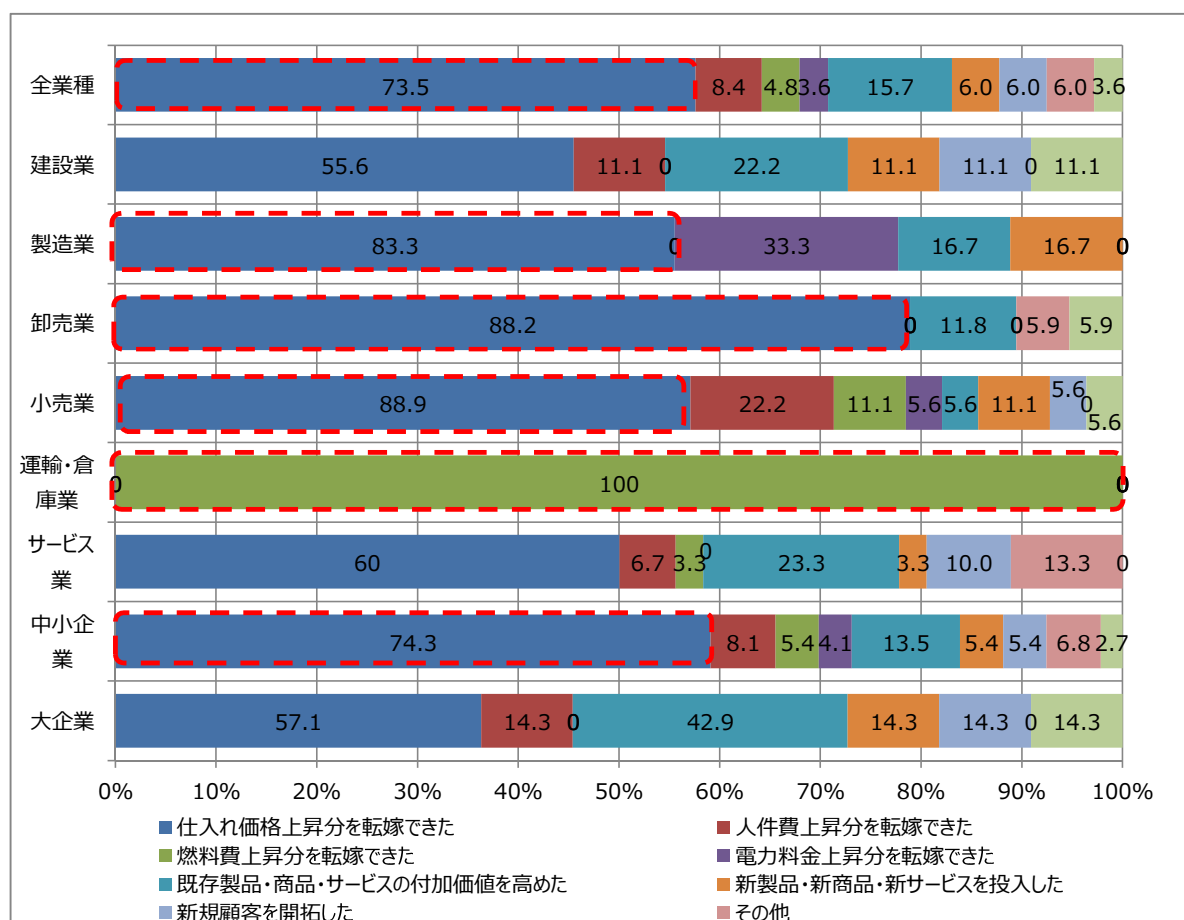
価格上昇の要因について、最も多かったのは、「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」73.5%と最も高い割合となった。

規模別にみると、中小企業では「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」が74.3%と最も高い割合に対して、大企業では「既存製品・商品・サービスの付加価値を高めた」が42.9%と最も多かった。

業種別にみると、「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」は、小売業88.9%、卸売業88.2%、製造業83.3%、サービス業60%、建設業55.6%と割合が高くなっている。「燃料費上昇分を転嫁できた」は、運輸・通信業100.0%と最も多かった。

(単位%)

| | 仕入れ価格 上昇分を転 嫁できた | 人件費上昇 分を転嫁で きた | 燃料費上昇 分を転嫁で きた | 電力料金上 昇分を転嫁 できた | 既存製品・ 商品・サー ビスの付加 価値を高めた | 新製品・新 商品・新 サービスを 投入した | 新規顧客を 開拓した | その他 | 未記入 |
|--------|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------|------|------|
| 全業種 | 73.5 | 8.4 | 4.8 | 3.6 | 15.7 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 3.6 |
| 建設業 | 55.6 | 11.1 | 0 | 0 | 22.2 | 11.1 | 11.1 | 0 | 11.1 |
| 製造業 | 83.3 | 0 | 0 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 0 | 0 | 0 |
| 卸売業 | 88.2 | 0 | 0 | 0 | 11.8 | 0 | 0 | 5.9 | 5.9 |
| 小売業 | 88.9 | 22.2 | 11.1 | 5.6 | 5.6 | 11.1 | 5.6 | 0 | 5.6 |
| 運輸・倉庫業 | 0 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス業 | 60 | 6.7 | 3.3 | 0 | 23.3 | 3.3 | 10.0 | 13.3 | 0 |
| 中小企業 | 74.3 | 8.1 | 5.4 | 4.1 | 13.5 | 5.4 | 5.4 | 6.8 | 2.7 |
| 大企業 | 57.1 | 14.3 | 0 | 0 | 42.9 | 14.3 | 14.3 | 0 | 14.3 |



10. 企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について

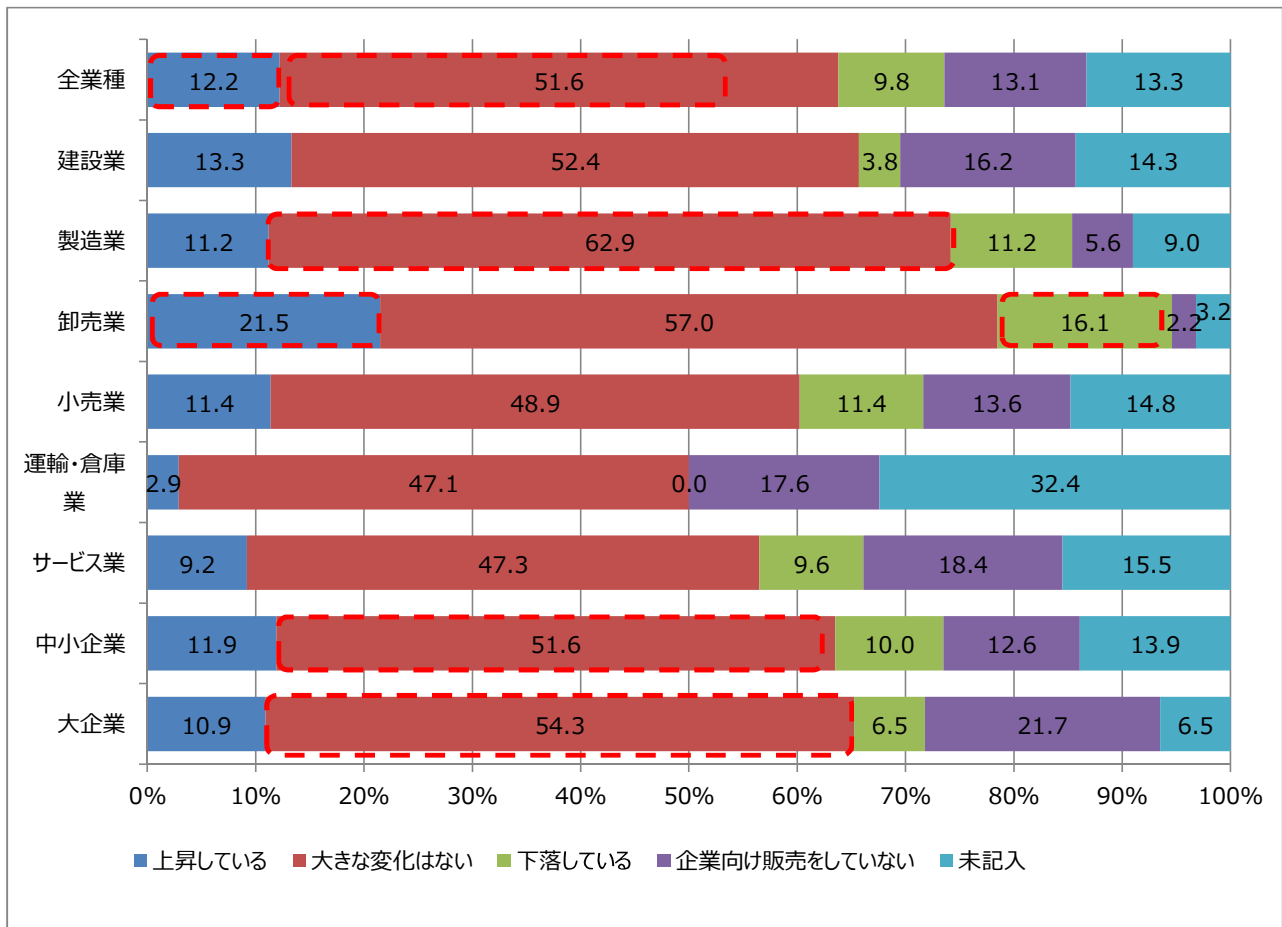
企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について、最も多かったのは、「大きな変化はない」51.6%となり、次いで「消費者向け販売をしていない」13.1%、「上昇している」12.2%、「下落している」9.8%となった。

規模別にみると、「大きな変化はない」が大企業54.3%、中小企業は51.6%と高い割合となった。

業種別にみると、「大きな変化はない」が全業種51.6%に対して、製造業で62.9%と最も割合が高い。「上昇している」でも卸売業が21.5%と最も割合が高く、「下落している」でも16.1%と割合が最も高くなっている。

（単位 %）

| | 上昇している | 大きな変化はない | 下落している | 企業向け販売をしていない | 未記入 |
|--------|--------|----------|--------|--------------|------|
| 全業種 | 12.2 | 51.6 | 9.8 | 13.1 | 13.3 |
| 建設業 | 13.3 | 52.4 | 3.8 | 16.2 | 14.3 |
| 製造業 | 11.2 | 62.9 | 11.2 | 5.6 | 9.0 |
| 卸売業 | 21.5 | 57.0 | 16.1 | 2.2 | 3.2 |
| 小売業 | 11.4 | 48.9 | 11.4 | 13.6 | 14.8 |
| 運輸・倉庫業 | 2.9 | 47.1 | 0.0 | 17.6 | 32.4 |
| サービス業 | 9.2 | 47.3 | 9.6 | 18.4 | 15.5 |
| 中小企業 | 11.9 | 51.6 | 10.0 | 12.6 | 13.9 |
| 大企業 | 10.9 | 54.3 | 6.5 | 21.7 | 6.5 |



10-1. 企業向けの商品・製品（BtoB）の販売価格（一年前との比較）について ▽販売価格が上昇した要因

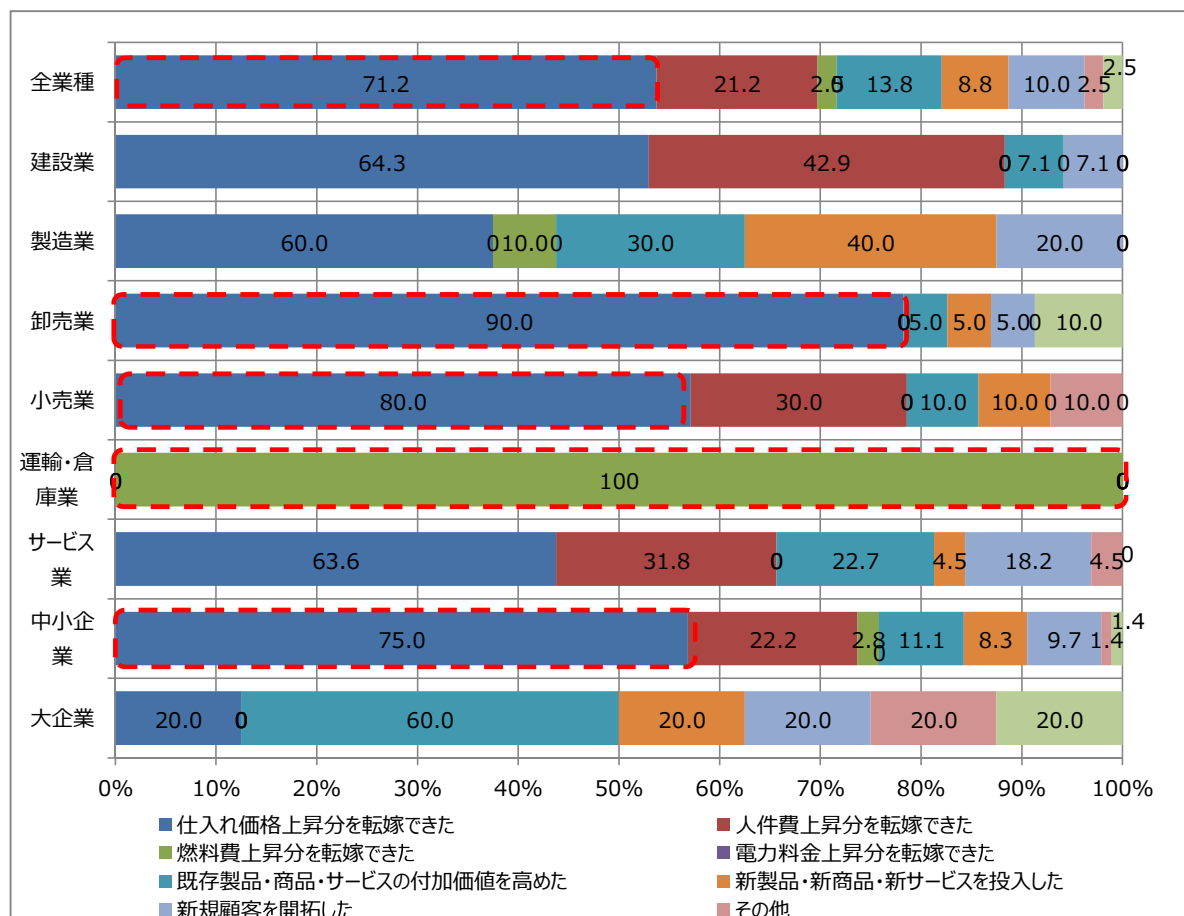
価格上昇の要因について、最も多かったのは、「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」71.2%と最も高い割合となった。

規模別にみると、中小企業では「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」が75%と最も高い割合に対して、大企業では「既存製品・商品・サービスの付加価値を高めた」が60%と最も多かった。

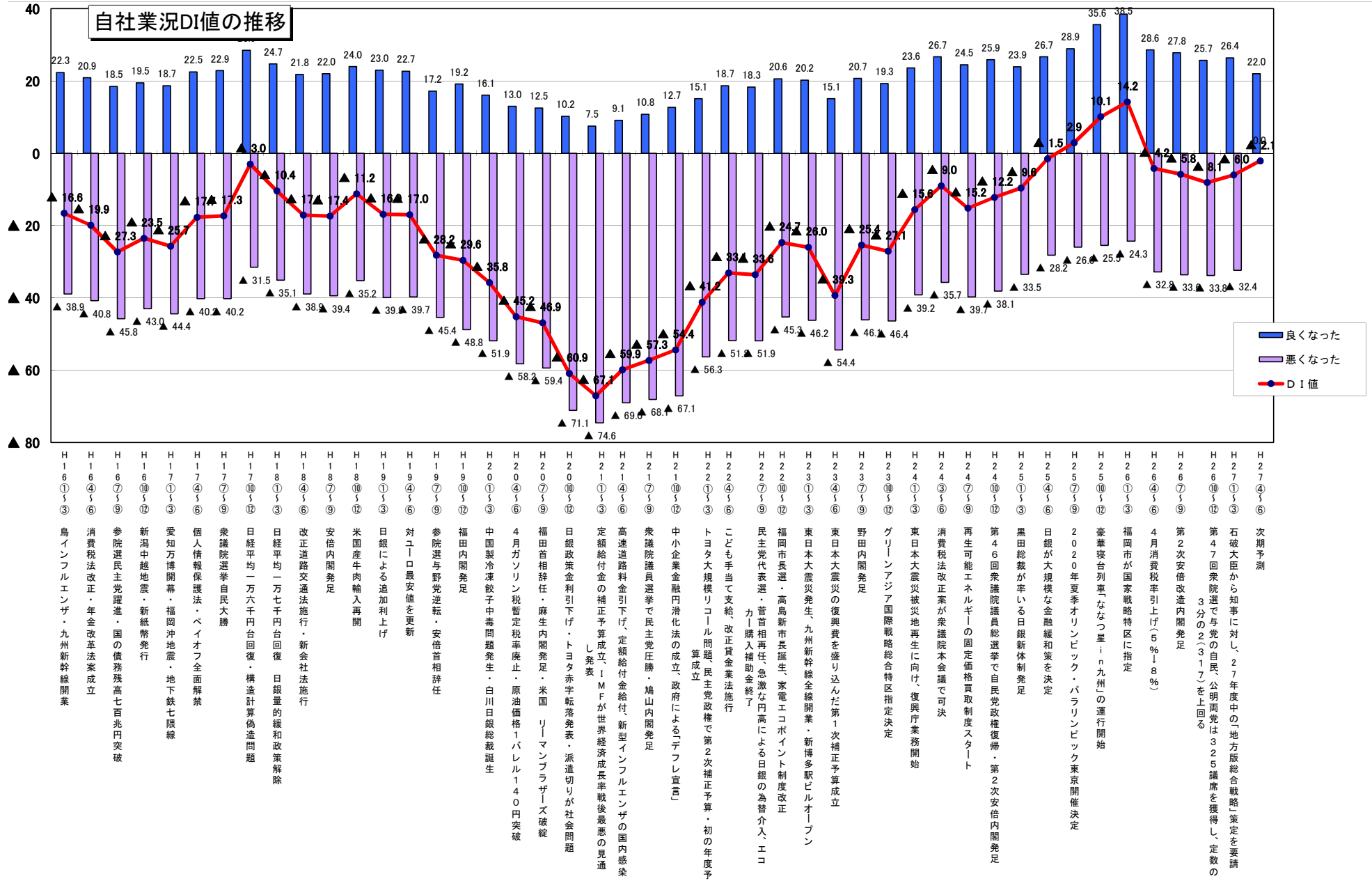
業種別にみると、「仕入れ価格上昇分を転嫁できた」は、卸売業90%、小売業80%、建設業64.3%、サービス業63.6%、製造業60%と割合が高くなっている。「燃料費上昇分を転嫁できた」は、運輸・通信業100%と最も多かった。

(単位%)

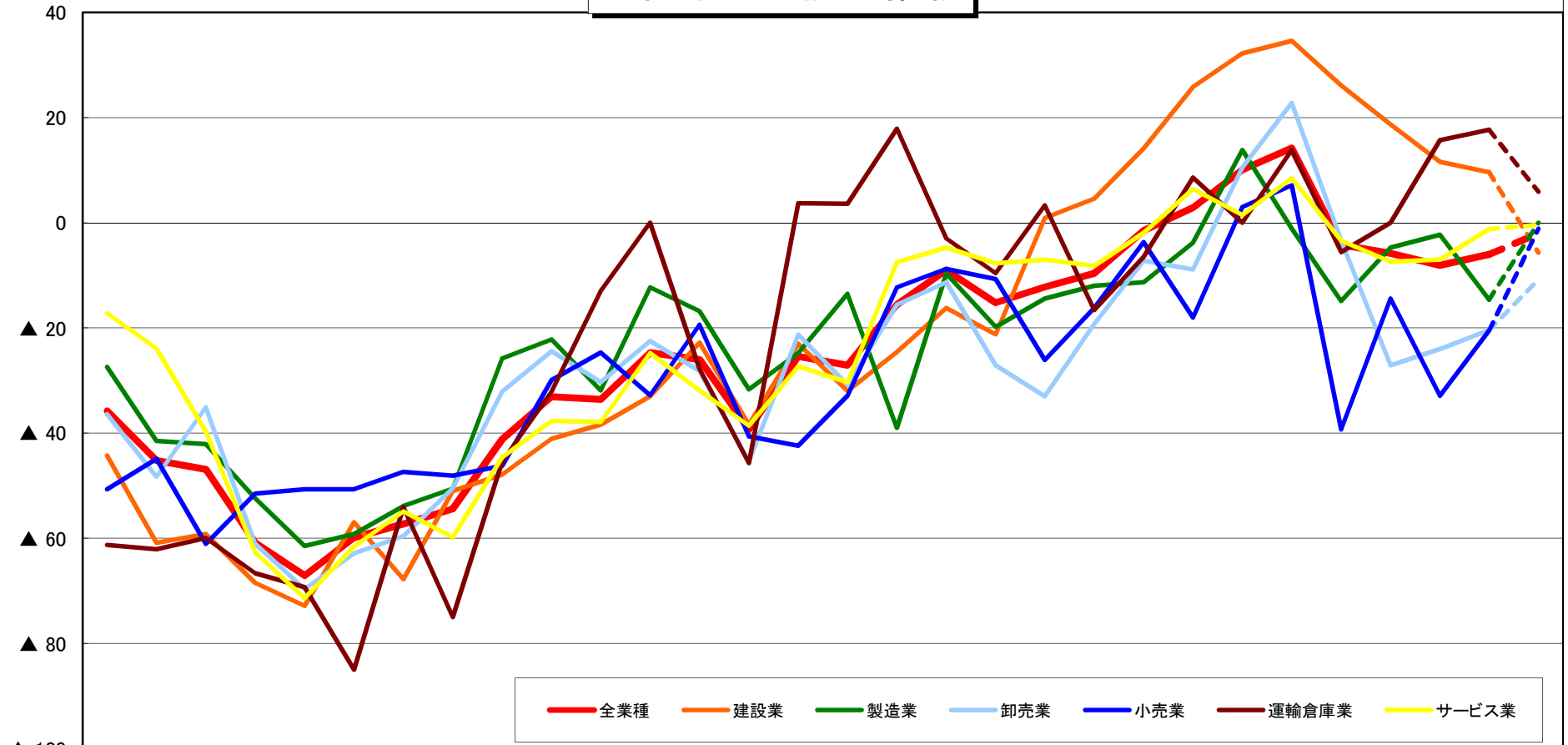
| | 仕入れ価格 上昇分を転 嫁できた | 人件費上昇 分を転嫁で きた | 燃料費上昇 分を転嫁で きた | 電力料金上 昇分を転嫁 できた | 既存製品・ 商品・サー ビスの付加 価値を高めた | 新製品・新 商品・新 サービスを 投入した | 新規顧客を 開拓した | その他 | 未記入 |
|--------|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------|------|------|
| 全業種 | 71.2 | 21.2 | 2.5 | 0 | 13.8 | 8.8 | 10.0 | 2.5 | 2.5 |
| 建設業 | 64.3 | 42.9 | 0 | 0 | 7.1 | 0 | 7.1 | 0 | 0 |
| 製造業 | 60.0 | 0 | 10.0 | 0 | 30.0 | 40.0 | 20.0 | 0 | 0 |
| 卸売業 | 90.0 | 0 | 0 | 0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 0 | 10.0 |
| 小売業 | 80.0 | 30.0 | 0 | 0 | 10.0 | 10.0 | 0 | 10.0 | 0 |
| 運輸・倉庫業 | 0 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス業 | 63.6 | 31.8 | 0 | 0 | 22.7 | 4.5 | 18.2 | 4.5 | 0 |
| 中小企業 | 75.0 | 22.2 | 2.8 | 0 | 11.1 | 8.3 | 9.7 | 1.4 | 1.4 |
| 大企業 | 20.0 | 0 | 0 | 0 | 60.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 |



自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)



自社業況DI値の推移



| | H20.1~3 | H20.4~6 | H20.7~9 | H20.10~12 | H21.1~3 | H21.4~6 | H21.7~9 | H21.10~12 | H22.1~3 | H22.4~6 | H22.7~9 | H22.10~12 | H23.1~3 | H23.4~6 | H23.7~9 | H23.10~12 | H24.1~3 | H24.4~6 | H24.7~9 | H24.10~12 | H25.1~3 | H25.4~6 | H25.7~9 | H25.10~12 | H26.1~3 | H26.4~6 | H26.7~9 | H26.10~12 | H27.1~3 | H27.4~6 |
|-------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|
| 全業種 | ▲ 35.8 | ▲ 45.2 | ▲ 46.9 | ▲ 60.9 | ▲ 67.1 | ▲ 59.9 | ▲ 57.3 | ▲ 54.4 | ▲ 41.2 | ▲ 33.1 | ▲ 33.6 | ▲ 24.7 | ▲ 26.0 | ▲ 39.3 | ▲ 25.4 | ▲ 27.1 | ▲ 15.6 | ▲ 9.0 | ▲ 15.2 | ▲ 12.2 | ▲ 9.6 | ▲ 1.5 | 2.9 | 10.1 | 14.2 | ▲ 4.2 | ▲ 5.8 | ▲ 8.1 | ▲ 6.0 | ▲ 2.0 |
| 建設業 | ▲ 44.3 | ▲ 60.9 | ▲ 59.2 | ▲ 68.5 | ▲ 72.9 | ▲ 57.0 | ▲ 67.8 | ▲ 51.0 | ▲ 47.9 | ▲ 41.1 | ▲ 38.4 | ▲ 33.0 | ▲ 22.8 | ▲ 38.4 | ▲ 23.0 | ▲ 32.0 | ▲ 24.6 | ▲ 16.2 | ▲ 21.2 | 0.9 | 4.6 | 14.1 | 25.8 | 32.2 | 34.6 | 26.1 | 18.7 | 11.6 | 9.6 | ▲ 5.7 |
| 製造業 | ▲ 27.4 | ▲ 41.5 | ▲ 42.1 | ▲ 52.4 | ▲ 61.5 | ▲ 59.2 | ▲ 53.9 | ▲ 50.6 | ▲ 25.8 | ▲ 22.2 | ▲ 31.9 | ▲ 12.3 | ▲ 16.8 | ▲ 31.7 | ▲ 24.8 | ▲ 13.5 | ▲ 39.0 | ▲ 9.7 | ▲ 19.8 | ▲ 14.4 | ▲ 12.0 | ▲ 11.3 | ▲ 3.8 | 13.8 | ▲ 1.1 | ▲ 14.9 | ▲ 4.7 | ▲ 2.3 | ▲ 14.6 | 0.0 |
| 卸売業 | ▲ 36.4 | ▲ 48.3 | ▲ 35.1 | ▲ 61.1 | ▲ 69.7 | ▲ 62.9 | ▲ 59.6 | ▲ 50.5 | ▲ 32.1 | ▲ 24.4 | ▲ 30.3 | ▲ 22.5 | ▲ 28.2 | ▲ 45.4 | ▲ 21.3 | ▲ 30.8 | ▲ 15.6 | ▲ 11.3 | ▲ 27.1 | ▲ 33.0 | ▲ 19.3 | ▲ 7.2 | ▲ 8.9 | 10.5 | 22.8 | ▲ 3.3 | ▲ 27.1 | ▲ 24.0 | ▲ 20.4 | ▲ 10.8 |
| 小売業 | ▲ 50.7 | ▲ 44.9 | ▲ 61.1 | ▲ 51.5 | ▲ 50.7 | ▲ 50.7 | ▲ 47.4 | ▲ 48.1 | ▲ 46.2 | ▲ 29.9 | ▲ 24.7 | ▲ 32.8 | ▲ 19.4 | ▲ 40.6 | ▲ 42.4 | ▲ 32.9 | ▲ 12.3 | ▲ 8.8 | ▲ 10.7 | ▲ 26.1 | ▲ 16.2 | ▲ 3.7 | ▲ 18.0 | 3.0 | 7.1 | ▲ 39.3 | ▲ 14.4 | ▲ 32.9 | ▲ 20.5 | ▲ 1.1 |
| 運輸倉庫業 | ▲ 61.3 | ▲ 62.1 | ▲ 60.0 | ▲ 66.7 | ▲ 69.3 | ▲ 85.0 | ▲ 54.1 | ▲ 75.0 | ▲ 45.4 | ▲ 32.1 | ▲ 13.0 | 0.0 | ▲ 27.8 | ▲ 45.7 | 3.7 | 3.6 | 17.9 | ▲ 3.0 | ▲ 9.6 | 3.3 | ▲ 16.6 | ▲ 6.5 | 8.6 | 0.0 | 13.8 | ▲ 5.6 | 0.0 | 15.7 | 17.7 | 5.9 |
| サービス業 | ▲ 17.2 | ▲ 23.9 | ▲ 39.7 | ▲ 62.7 | ▲ 71.4 | ▲ 61.6 | ▲ 54.9 | ▲ 59.8 | ▲ 44.6 | ▲ 37.7 | ▲ 37.9 | ▲ 24.8 | ▲ 31.9 | ▲ 38.6 | ▲ 27.3 | ▲ 30.3 | ▲ 7.5 | ▲ 4.7 | ▲ 7.7 | ▲ 7.0 | ▲ 8.2 | ▲ 1.9 | 6.4 | 1.5 | 8.5 | ▲ 3.4 | ▲ 7.4 | ▲ 7.0 | ▲ 1.2 | ▲ 0.4 |